



東山魁夷『年暮る』



『緑響く』

風景は心の鏡 平和への祈り



公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟

災害子ども
教育支援チャリティー

東山魁夷版画展

同時開催
日本美術名作選

日時 2025年 9月12日(金)～15日(月・祝)
午前9:30～午後5:30

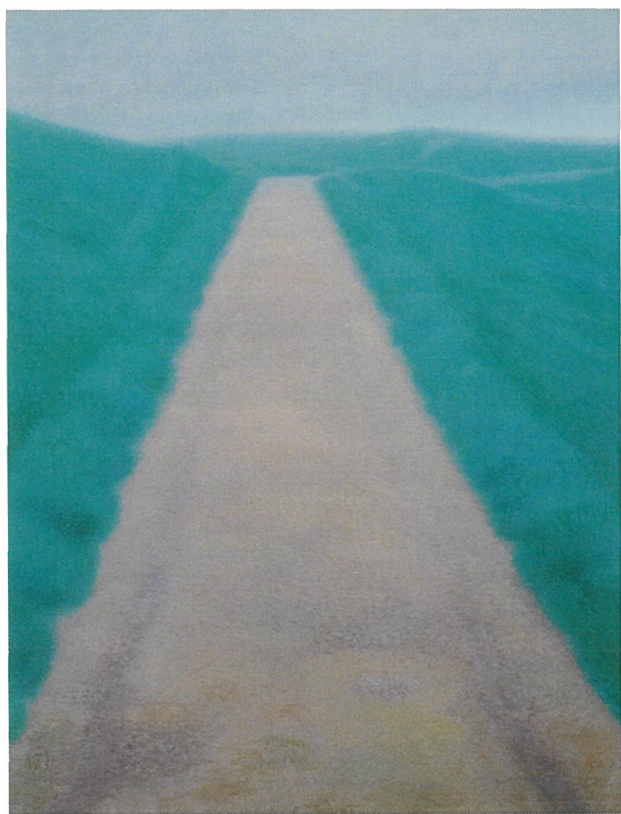
場所 米子コンベンションセンター BIGSHIP 情報プラザ
鳥取県米子市末広町294 TEL 0859-35-8111 (9:00～18:00)

主催 / 株式会社 ほるぷ エーアンドアイ **ほるぷA&I**

お問合せ先 / 大阪府枚方市西禁野1丁目1-23-202 TEL 072-805-0595

後援 / 米子市 / 米子市教育委員会 / 社会福祉法人 米子市社会福祉協議会 / 新日本海新聞社 / 朝日新聞鳥取総局 / 毎日新聞鳥取支局 / 読売新聞鳥取支局 《順不同》

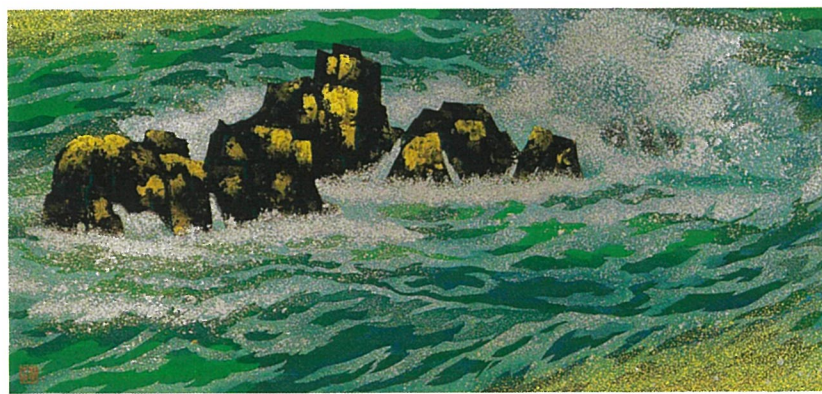
● 展示販売・入場無料 ●



『道』



『静映』



『満ち来る潮』

東山魁夷 版画展

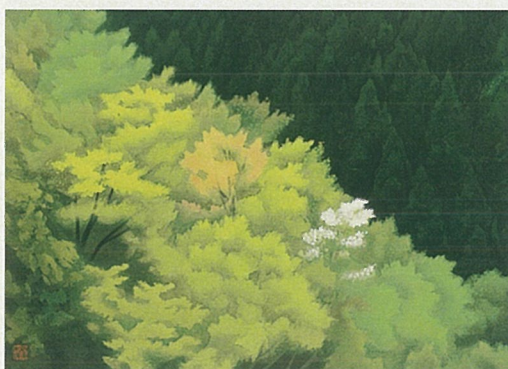
東山魁夷が描く
詩情豊かな景色

東山魁夷は、自然の美しさを描写する風景画で魅了し続ける、昭和と平成を代表する日本画家です。戦争末期の1945年7月に37歳で招集され熊本に送られ、教練で登った熊本城天守閣跡から眺めた阿蘇の山並みの美しさが東山魁夷の心を強く打ちます。1945（昭和20）年から1999（平成11）年に逝去するまでの、およそ半世紀にわたり千葉県市川市に住み、1946年の日展では落選、1947年、絶望のなかで山並みに自分の心を重ねて描いた「残照」が日展で特選を受賞。以来、東山魁夷画伯は風景画家として立つことを決意し自分の心境を風景に投影させて絵を描くようになります。1992（平成4）年ユネスコ芸術賞の創設に対する貢献により、ユネスコ・ピカソ金メダルを受賞しました。

本展では、1950年に発表された「道」「静映」「緑響く」など、代表作約40点の版画作品で画業を振り返ります。ご希望の作品はご予約を承り、収益の一部は、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の行う「災害子ども教育支援」に寄付させていただきます。



『宵桜』



『鈴若葉』

—— 東山魁夷略歴 ——

- 1908年 横浜に生まれる
- 1931年 東京美術学校日本画科を卒業
「魁夷」を雅号とする
- 1947年 第3回日展に《残照》を出品
特選を受賞
- 1956年 第11回日展に《光昏》を出品
日本芸術院賞を受賞
- 1969年 毎日芸術大賞を受賞
文化勲章を受章
- 1974年 日展理事長に就任
- 1990年 長野市の城山公園内に
東山魁夷館が開館
- 1999年 逝去 90歳 従三位 勲一等瑞宝章



『白馬の森』



『朝雲(吉野の山嶺)』



『沼の静寂』

特別企画

日本美術名作選

横山大観 平山郁夫 片岡球子 中島千波 上村松園 森 清範



上村淳之『四季花鳥図』



上村松園『鼓の音』



中島千波『石部の櫻』



小倉遊亀『径（こみち）』



横山大観『正気放光』

平山郁夫画伯に師事し、ユネスコ・世界遺産を描く

高橋新三郎の世界



赤富士4号



上高地6号